



そよかぜだより

令和8年2月24日

垂井こども園

暦の上では立春を過ぎましたが、吐く息が真っ白になるほど、寒い日が続いています。前日、カップに水を入れて外に置いておくと、朝には氷になっていて「氷ができてる!」「冷たい!」と大喜び。雪が積もった日はさらに大喜び。この季節にしかできない遊びをたくさん経験することができた子どもたちです。

雪遊び

雪玉が
こんなに大きくなった!



かまくら作るの難しいな



たくさん雪が降った朝「今日は雪で遊べる!」と登園してきた子どもたち。『早く遊びたい!』と登園してすぐに雪の積もった園庭や2階の回廊に向かいました。大きな雪だるまやかまくらを作ったり、滑り台を作りながら「ここにもっとたくさん雪をつけるといいかも」と友達とやりとりをしながら雪遊びを楽しみました。

鬼は外!福は内!

鬼は外!福は内!



青鬼さん、またね。



ピンクのハート、どうぞ



福の神さん、ピンクのハートありがとう



節分会を行いました。鬼が保育室に入ってくると、最初は怖がっていた子どもたちでしたが、「鬼は外!福は内!」と新聞で作った豆で鬼を追ひ払い、同時に心の中にある鬼も追ひ払うことができました。鬼が出ていったあとは、福の神からピンクのハートをもらい、今年一年も元気に過ごせそうです。

生活指導



咳やくしゃみ1回でこれだけの飛沫が飛びそうです



生活指導で、“咳やくしゃみのエチケット”についての話を聞きました。咳やくしゃみを1回すると、これだけ飛沫が飛ぶということを目でみた子どもたちはとても驚いていました。咳やくしゃみが出るときはマスクをしたり、手やティッシュなどで覆うことを知りました。しっかり実践をしていこうと思います。